



川内小学校だより

# ゆずり葉

第16号

平成29年11月14日  
桐生市立川内小学校発行



## 小さな本の大きな世界

子どもと本

谷川俊太郎

子どもよ

物語の細道をひとりでたどるがいい  
描かれた山々を眼で登りつめ  
洞穴の奥の竜の叫びに耳をすますがいい

子どもよ

本の騎士と戦い本の王女に恋するがいい  
煮えたぎる比喻の大鍋の中の  
昨日にひそむ今日をむさぼり食うがいい

子どもよ

意味の森で迷子になるがいい  
修辞の花々に飾られた小屋に逃げ込み  
魔女に姿を変えた母親に出会うがいい

そして子どもよ

なんどでも本を破り捨てるがいい  
言葉の宇宙を言葉のはてまで旅して  
ふたたび風船ガムをふくらませるがいい

10月27日から11月9日は「読書週間」でした。こどもの読書週間というのもあります。今年は4月23日から5月12日でした。

第2回の学校評価をお願いしているところですが、読書の評価が突出して低いことが本校の課題です。

そこで、全校朝会で読書の話をしようと思いい、子ども読書週間のポスターを取り寄せてみました。「小さな本の大きなせかい」という標語の入ったポスターが送られてきました。

朝会では谷川俊太郎さんの「子どもと本」という詩を朗読しました。物語の中で、主人公と一緒に山に登ったり、竜の叫びを聞いたり、騎士と戦ったりできる。自由に想像しながら、もう一つの体験ができるということが読書の楽しさだということがよく分かります。

読書はたくさんの体験、様々な生き方を経験できるということです。そして、それは心の栄養になります。

読書をする習慣をつけてほしいと思います。



### 音楽集会

桐生市音楽学習発表会に参加する4年生が合奏「ラデツキー行進曲」と合唱「いまだよ」を全校の前で発表しました。音楽の松村先生の選曲から始まって、音楽の時間やすき間の時間を使って3か月少



### 桐生市文化会館主催・実演家講師派遣事業 栗コーダーカルテット

NHK教育番組「ピタゴラスイッチ」で演奏している栗コーダーカルティットの生演奏を3年生が音楽室で聴く機会に恵まれました。

